

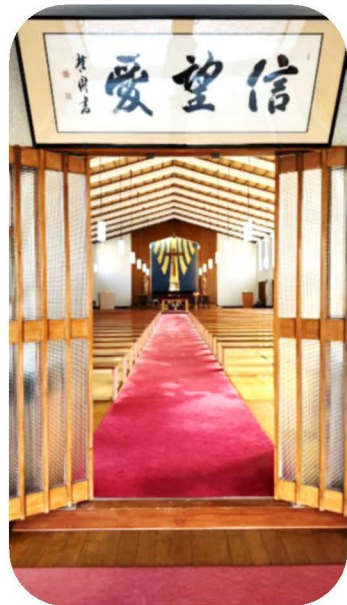
第170号
2023年11月19日
発行所
祇園カトリック教会
信徒会
hikari@gionkyokai.jp

聖堂補修工事

主任司祭 李 相源

祇園教会は、有限会社CS建築事務所と修繕工事コンサルタン卜業務委託契約を令和5年3月8日締結し、聖堂及び鐘楼の建物劣化診断調査を実施した。そしてCS建築による見積内容の説明を受けて、工事業者を「株式会社長崎塗装店」とした。CS建築による工事監理を適宜実施しながら順調に工事が進み、11月20日工事引き渡し会を開催し工事は完了となる。

聖堂に捧げられたこの聖堂は、扉を開けて中に入ると、今では数少なくなつた畳敷きの静かな空間が広がる。畳、私たちの揺るぎない信仰心のシンボルである。幸せを願つて祈りを捧げた人たちの想いをこの聖堂が記憶して



いる。そして日々の暮らしの中、お告げの祈りの鐘は鳴り響き、キリスト教の精神に基づく教育の場として、幼稚園の子どもたちはお手を合わせて祈る。

ここで！ 日常的に信仰の場として利用されているだけに、このたび老朽化にともなつて、聖堂内部工事(信者席・畳・音響空調等)を余儀なくされることになりました。皆さんのご意見を収斂しつつ進めてまいります。若者はもちろん、年輩の方々も、次の世代に任せますよ、ではなく、しっかりとご意見を述べていただきたい。この聖堂がその簡素な聖堂の美しさで私たちを魅了し続けていきますように。ありがとう。アーメン。

にぎわう ほほえみの集い



9月17日(日)、9時半ミサの中で今年ほほえみ会員になられた方々へのお祝いがありました。祝福とプレゼントの後、教会学校の皆さんによる、心のこもった歌のプレゼントがありました。また、信徒会館で4年ぶりに茶話会が催されました。

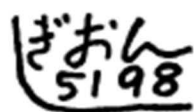
今回、77歳でほほえみ会員になられた15名と、既存会員と合計で計240名の方が今年のほほえみ会員です。

高齢化社会で、教会に来ることも難しい方もいらっしゃると思いますが、どこにいても、神様に感謝しながら祈りて心を合せていただけたらと思います。

親善囲碁大会閉じる

内山 隆

昭和50年1月、「地域に開かれた教会」の一つとして壮年部(男性) 囲碁部会はブラウン神父の全面的支援により第1回親善囲碁大会を開催。信徒、地域からも老若男女の囲碁愛好家が教会に集い、囲碁を通して親睦を図り分ち合つた。広島学院・ノートルダム清心の生徒の参加もあり、百回記念大会にはプロ棋士をまねくほどの盛況、一時は登録会員200名(内、信徒20名弱)を越す勢いであった。大会の優勝者には主任司祭署名入り賞状とワインが贈られ、大会がもつ小さな社会へのエールともなった。会員の高齢化とネット社会の中でこの度、第175回大会を最後に48年間続いた親善囲碁大会を閉じ、囲碁クラブも解散することに なつた。木戸氏による冊子(20周年、30周年記念誌、囲碁同人文集) から見る、氏的情熱と多くの歴代司祭に支えられた半世紀にわたる教会活動の一つでもあった。



私には2人の息子がいます。(中3と小6)▼私も息子達も清心幼稚園に通いました。▼日曜日の

教会学校では沢山の学びと体験をさせてもらっています。私は小学1年生の時に3歳上の姉と母とで近藤神父様から洗礼を授かりました。▼長男は3年生の時に「僕、神様の子供になりたい! 洗礼を受けたい!」と言つてきました。本当に驚き、とても嬉しかったです。幼稚園生の頃から神父様やシスター達から愛を注いでもらい神様のお話を聞き、もつと神様の近くにいたい!と思つたのだと思います。すごいお恵みです。▼昨年からは教会学校の保護者代表をさせてもらっています。司牧評議会への参加やリーダー達と話し合いや企画など、大変な事もありますが楽しい毎日です。裏方の手伝いをさせてもらいながら、色々な事の大切さを学んでいます。こんな経験を見せてもらえら! すごいお恵みです。▼先輩信者さん達をしっかりとサポートし私達世代がもつと頑張つていかなければいけない!と感じてます。▼祇園教会の皆さんと共にこれからも努力していきたいと思つています。クララ裕美